



生徒の苦手を得意に変える先生になりたい 萩堂 雄太(今福教室)

はじめまして、4月に入社しました萩堂(おぎどう)雄太と申します。「萩堂」という苗字は沖縄に多く、ひいおじいちゃんが沖縄出身だそうです。僕はといえば生まれも育ちも大阪府寝屋川市です。寝屋川市は田舎ではありません。かといって都会というほどでもありません。駅前には商店街があり、そこをくせの強いおっちゃんとおばちゃんが歩いている「ザ・大阪」な街です。

小学生のころは毎日友達と遊んでいました。学校が終わると、近くの公園でドッジボールをしていました。いま考えると、ドッジボールしか遊びを知らなかったのか、ドッジボールがおもしろ過ぎて他の遊びをしなかったのか、わかりません。その頃は

飽きずにやっていましたね。でも、この何かに夢中になる経験は、後の人生に良い影響を与えているような気がします。

中学生からは卓球に夢中になりました。通っていた中学校の部活で一番厳しいと言われていたのですが、「しんどい」「つらい」よりも「楽しい」「もっと上手になりたい」という気持ちが強く、練習にのめりこみました。

高校生になっても卓球は続けました。僕は大阪府の公立高校に通っていましたが、私立の強豪校の生徒に勝つこともありました。団体戦でも大阪府の大会で16位まで上がりました。あと一步のところでベスト8でしたが、惜しくも負けてしまいました。これでもいい思い出です。

部活を引退した後は、大学受験に取り組みました。僕が受験で最も苦労したのは社会科でした。膨大な量の知識を暗記するのが苦手で、どのよう

に勉強したらよいのかわかりませんでした。そんなときに出会ったのが、ある塾の先生でした。その先生は、社会は暗記科目ではなく考える科目だと言いました。最初は半信半疑で先生の授業を受けていましたが、だんだんと意味がわかってきました。「なぜこの戦争は起こったのか」「何が原因で民衆が反乱したのか」などを考えているうちに、気づいたころには社会の知識が頭に入っていました。

僕はずっと社会科に苦手意識を持っていました。しかし、先生が変われば苦手科目が得意科目に変わることを知りました。そして、自分も生徒の苦手を得意に変えられる先生になりたいと思い、開智総合学院にやってきました。

社会が苦手な生徒さんは多いと思います。でも、社会を勉強して身につけた知識や考え方は必ず役に立ちます。勉強していてよかったと、皆さんが思える日まで一緒に勉強していきましょう。



ルイージのちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE イルストレ・ルイージ(かいち学童)

「なにこれ?」

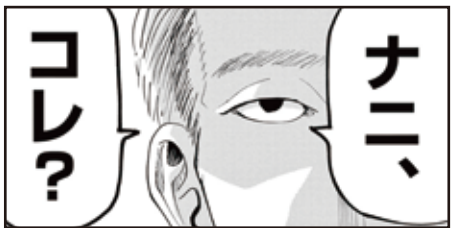


私の家族がもう一人増えます。3番目の子、次女がもうすぐ生まれます。私も父親になってから、子育てに関してたくさん考えます。現在よりもっといい生活ができるかの心配や子供の将来に関してよ

く悩みます。不安のなかでは毎日を過ごせないため、次の話をいつも思い出します。

聖書でイスラエルの民がエジプトを出た話があります。

シナイ山の方向に旅をして、荒野に着きました。イスラエルの民は食べ物で不平を言ったのです。神はそれに対して、夕方には鳥のうずらを、朝には甘いパン・菓子のようなマナを与えられました。マナの意味は「なにこれ?」という意味で、朝ごとに降ってきた神からの恵の食べ物なのです。多く取った者も、少なく取った者も、計てみると、ちょうど必要な量だけありました。また明日の朝まで残しておいてはいけなと神から命じられていましたが、その言葉に反して翌朝まで残しておくと、それは虫がついて臭くなっていました。しかし週の7日目だけは違いました。前日の6日目にはいつもの倍の量のマナが与えられて、それを料理して取っておいても、虫もつかず、臭くもありませんでした。7日目の安息は神を覚える日としてテントの中



で過ごして、一切の作業を休むように神がされたのです。しかし7日目にもマナを探しに出た者がいますが、何も見つける事はできませんでした。

現実においてもこの聖書の話は当てはまると思います。父親としてはいろいろ不安ですが、「子供たちをちゃんと育てていけるかな?」と考えたりします。学童の責任者の気持ちも複雑であり悩んだり心配したり、どうすればいいのかわからない時もあります。学童では実際一週間をバタバタと過ごし、思い通りにいかないことも多々ありますが、この安息日のお話のように一週間のすべての出来事を神様が上手く解決し、私たちに安らぎを必ずあたえてくださりながら日々過ごせるようになっていと思います。どんなことでもできることをすべてやってあげば、あとは神様の導きによります。イスラエル人のように必要なものは必要な時に与えられることを信じながら「なにこれ?」って笑いあって、学童が素晴らしく発展することを強く信じます。学童チームは今年も全力で頑張っていきたいと心に願いながら邁進していきます!

カイチからのお知らせ

- 5月中旬より各中学で中間テストが実施されます。それに伴い塾内では定期テスト対策を実施いたします。お子様の学習の様子に不安がある時は各教室にご遠慮なくご相談ください。
- 5月28日(水)・29日(木)は小学診断テストです。
- 6月7日(土)は全クラス休講日です。

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター



May 2025
Vol. 152
毎月10日発行

【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563
【カイコベ】
城東区今福西 3-4-9
TEL.06-6180-6565

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000

【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

春の遠足に行ってきました。



4月20日の日曜日、幼稚園・小学生達を連れて春の遠足に行ってきました。天気予報はギリギリまで雨。昨年の琵琶湖博物館の遠足は残念ながら雨でドッジボールができませんでした。遠足担当の川西先生は「今年も雨か、またドッジボール大会ができない」と心配していましたが、川西先生の思いが届いたのか、直前の予報は曇りに。すると今度は「ドッジボールでケガが出たらどうしよう」とソワソワ。どっちにしても心配するんかいなという感じでした。

今回の参加者は約220名。バンドー神戸青少年科学館に行った後、今年は無事ドッジボール大会ができました。曇っている天気のおかげで、熱中症の心配をすることもありませんでした。



▲行きのバスから盛り上がっていました

子供達は行きのバスからハイテンションでした。今福教室バスでは岸田先生がクイズ大会をしてくれました。高速道路に乗ってから20分程度の予定でしたが、みんな盛り上がり、終わらせてくれません。途中からは「私が問題を出したい」と言う子が続出し、生徒達が問題を出して生徒達が答える形式になり、気が付くとバスは高速道路を降りていました。

バンドー神戸青少年科学館に到着すると、今福・関目教室のみんなは最初にプラネタリウムを見ました。私はプラネタリウムを見るのは10年ぶりぐらいですが、寝転がって見られる特別シートなどもあり、とてもきれいな施設でした。神戸から見える現在の惑星や星座の様子などを見せてくれ、宇宙予報士というこれからの職業についての話など、みんな一生懸命見ていました。

ちびっこ達はわけがわからずひたすら展示物のボタンを押しまくっていましたが、宇宙の展示になるとプラネタリウムを見たいとか、惑星の色や質量を感じる展示にみんな興味深々でした。深い内容は分からなくても感性として面白そうと感じる。興味の入り口とは、そんなところにあるのかもしれない。科学館を後にし、公園に移動して昼食の時間。み



▲科学館内は教科書に載っている実験も多数ありました。

んな、持ってきたお弁当を嬉しそうに食べていました。ドッジボールが後ろに控えているので昼食時間は30分。この時間でおやつも食べないといけません。でも、みんな作ってもらったお弁当は残してはいけなと丁寧に最後まで食べていました。年長さんや1年生は特に食べるのが遅い。でも、持ってきたお菓子も食べたい。他の学年は整列しだしている。それでも、デザートフルーツまできちんと食べる。作ってくれている家族の気持ちが分かってるんだな、偉いなと思いました。きっと私が子供の時なら、お弁当を残してお菓子を食べてしまいます。ちなみに、お菓子を食べられなかった子はドッジボールの時間で菓子は食べました。



▲ドッジボール大会は諸口教室が優勝!

昼食後はいよいよドッジボール大会。教室ごとに低学年・高学年チームを作り、それぞれ10チームの総当たり戦で優勝を決めます。試合が進むにつれてみんなのボルテージが上がり、とにかくすごい盛り上がりでした。1年生でもなかなか上手な子がいたり、高学年チームは大人顔負けの迫力でした。みんな教室にいる時と、また違ったハツツとした顔をしていました。結果は低学年が関目チーム、高学年が諸口チームの優勝となりました。私も外で大きな声を出したのは久しぶりです。

遠足に行く度に、「子供達元来のたくましさを取り戻すな」と感じます。

遠足では、どうしても私達の目が行き届かない場面があります。これが大事なのだと思います。守ってくれる大人がいらない。だから自分がしっかりしないといけない。点呼の時には大きな声で返事をする、指示があればさっと動く、弁当は早く食べないとお菓子が食べられない、しんどくてもおんぶはしてもらえない、オリエンテーリングでは迷子にならないように先生や仲間から目を離せない。

不親切な分、子供達は、頭とカラダを使って自立する。そうやって、元来持っている強さを取り戻していく気がします。カラダを動かすと気持ちがグングン開いてくる。今の子供達にはそのような機会が少ない気がします。

遠足から戻ってくる頃には、へろへろの先生達に対して、子供達はすっかり精悍な顔つきになっていました。

自分で考え、自分で行動する。

元来、人間は自分の考えをカラダを使って試したい生き物です。これが好奇心を生み、生きる力になります。

カイチでは遠足以外にも、先日行ったトーキングキッズのイースターや夏のピンゴ大会、クリスマス会など様々なイベントがあります。最近では、小学部でディスカッションゲームなども取り入れています。頭だけでなく体も使って、全身で学べる。もっと、そんな教室になれる工夫をしたいなと思いました。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

新年度が始まって1か月

岸田 圭滋 (今福教室)

●入学・進級おめでとうございます●

3月12日(水)。新中1と新中2標準の初授業がありました。新しい教材を配布し、先生たちと生徒のみなさんの間にも、見えない緊張感という壁がありました。新中1のみなさんは、19時20分～21時45分という時間帯に不安を感じながら授業を受けていました。

勉強の仕方、宿題の意味、持ち物の準備、帰る時のルール。。。あれこれと話をしているうちに、だんだんわだかまりがとけていきました。今年度は、中1では数学・国語・理科(Aクラスのみ)の担当です。今年1年間、よろしく願いいたします。

さて、そんな初々しい授業から春期特別授業、春期講習、春休みを経て、1か月。緊張感がだんだんと薄れてきた頃、気持ちも緩んだことがありました。2、3人、宿題を平気で忘れてくるという日がありました。こういうとき、どれだけしっかりと注意することができるかが大事です。このとき、私はクラスの生徒全員に、「宿題とは」という話をしました。人間ですから、言われたことはすぐに忘れます。ましてや、注意事になるとなおさらです。面倒な大人、小うるさい大人が、『ダメなものはダメ』と注意することが躊躇われる世の中です。しかし、この空間に存在している限り、ルールは必要です。そのルールを元に教室が成り立っています。ですので、何回もこういうことは見過ごさず、一つひとつ丁寧に対応するように心がけています。

●GWが明ければ定期試験対策●

さて、いよいよこの季節になりました。1学期中

間試験です。開智総合学院では定期試験の3週間前から動き始めます。「定期模擬試験の予想問題」を配布し、その1週間後に「定期模擬試験」を受けます。そのあとは席替え(中1ではクラス替えも)があります。本来ならば、その翌日から「3時間自習」「9時間自習」と続きます。しかし、今回は連休を明けると1週間前になる中学校もあります。連休中、塾はお休みですので、休みの間でもしっかりと計画を立てて学習する必要があります。

そこで、役立つのが「スケジュールシート」です。次の日は何の教科をどれくらい勉強するかを計画してから寝る。そして当日、きちんと計画通りに動けたか否かを記入する。なかなか大人でも難しいことですが、それを開智総合学院では中1から書いてもらいます。自分で勉強することの意味、大切さ、高校になってからは自分で勉強する割合が、中学と比べると圧倒的に増えます。そんな状況になった時、『いかに自分で動けるか』が大切になってきます。

●遠足は晴天に恵まれました●

開智総合学院の大好評のイベントの一つ、遠足が今年も大々的に行われました。去年はあいにくの雨でした。今年も週間天気予報では、遠足当日だけ雨予報。しかし、そんな予報を見事に裏切ってくれました。お弁当も大きな広場で食べることができました。何よりも盛り上がったのがドッジボール大会。学年ごとでチームを編成し、4つのコートはすべて白熱しました。審判を担当しましたが、年長・小1のみなも、キャッチャはしゃぎなが

ら楽しんでいました。行きのバス中では、「なぞなぞ大会」をしました。事前に準備していた問題だけでなく、生徒のみんなもクイズを出す側にまわったり、楽しいひと時を過ごせました。来年も晴れるといいな。

●イースターパーティー●

4月12日(土)、今年から新しいイベントが仲間になりました。外国人の先生と日本人の先生が協力し、さまざまな取り組みが行われました。自己紹介、うさぎをモチーフにした制作、楽しいゲームで、あっという間に90分が過ぎました。トーキングキッズは随時体験授業を受付中です。今福教室では現在40名近くの生徒が英語を勉強しています。ピギナークラス・プレップクラス(英検5級準備クラス)、英検4級、3級、準2級(火曜日のみ)と、クラスを細かく編成しています。開講曜日は毎週火曜日と金曜日です。興味のある方は、是非お声掛けください。

●最後に●

今年度も、たくさんの方々に入会していただきました。本当に感謝の気持ちで一杯です。2月1日(土)の第1回入塾説明会を皮切りに、毎週土曜日に、中学部と小学部の2部に分けて開催しました。日を追うごとに問い合わせの電話があり、丁寧な説明を90分いたしました。大切なお子様をお預かりし、成績を伸ばすことを第一に、スタッフ一同、誠心誠意対応いたします。今後も今福教室をはじめ、開智総合学院をよろしく願いいたします。



▲入塾説明会、2025年度が始まります。



▲中3全員と、合格祈願です。



▲入試お疲れ様でした。自己採点会の後は茶話会で盛り上がりました。



▲みんなの頑張りで、叶いましたね。

▲chatGPTにて。
ビジュアルシール風加工。

▲今福教室のInstagramです。フォローお願いします。

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

笑顔いっぱい！
TKイースターイベントレポート

峯上 颯太(トーキングキッズ)



こんにちは！今回は、4月に開催されたトーキングキッズの春のスペシャルイベント、「イースターパーティー」の様子をたっぷりレポートします。

まずは、「イースターって何？」というところから簡単にご紹介しましょう。

イースターは、キリスト教における「復活祭」として知られており、イエス・キリストが復活したことをお祝いする大切な行事です。そして春の訪れや新たな命の始まりを象徴するお祭りでもあり、特に欧米では家族で集まってごちそうを食べたり、子供達がエッグハントを楽しんだりする、心温まる季節のイベントなのです。

卵は「新しい命のシンボル」、そしてうさぎは「繁栄と多産の象徴」として親しまれていて、イースターといえばカラフルな卵とうさぎが定番！トーキングキッズでも、子供達にそんな異文化に楽しく触れてもらいたいという想いから、スタッフみんなで意見を出し合い、今年のイースターイベント開催が決定しました。

中心となって企画してくれたのは、明るくパワフルなカトリナ先生と、いつも優しく子供達に寄り添ってくれるシルバ先生。お二人とも「子供達にとって特別な一日にしたい！」という想いで、細部にわたって丁寧に準備を進めてくれました。特に大きな話題になったのは、手作りの特製ピニャータ🎉！何日もかけて作られたうさぎ型のピニャータは、想像以上に手が込んでいて、「これ、手作りのなの!？」と驚く保護者の方も多数いらっしゃいました。

では、当日の様子をアクティビティごとに

振り返ってみましょう！

🎈1. スリル満点!エッグトスゲーム

最初のアクティビティは「エッグトス」！ゆで卵を使って、ペア同士で投げ合うスリリングなゲームです。「えっ、生卵ちゃうん!？」とドキドキしていた子もいましたが、もちろん安心・安全なゆで卵です。最初は近い距離からスタートし、徐々に距離を伸ばしていきます。

子供達は真剣そのもの。でも、キャッチに失敗して卵が地面に落ちたときは、教室いっぱいに笑い声が響きました。「あ〜っ!ごめん!」と相手に謝ったり、「まだいける!」と声をかけあったり。自然とコミュニケーションが生まれ、英語のフレーズも飛び交っていました。ちなみに、割れてしまった卵は、イベント後に先生たちが美味しくいただきましたよ。

🎨2. 個性あふれる!うさぎアート



クラフトの時間には、紙皿を使って「うさぎアート」を制作！白い紙皿が子供達の手にかかる、たちまちカラフルで表情豊かなうさぎたちに大変身。耳の長さを調節したり、目の位置で個性を発揮したりしていました！

想像力を存分に発揮しながら、楽しく英語を交えての制作時間となりました。「Look!」「So cute!」と、お友達同士で見せ合いっこして盛り上がる姿がとても微笑ましかったです。

🎉3. 大興奮!うさぎ型ピニャータ割り

いよいよイベントのクライマックスは、みんなが楽しみにしていた「ピニャータ割り」！うさぎの形をした特製ピニャータを、目隠しして棒で順番に叩いていくこのゲームは、みんなの応援と笑い声が絶えないほどの大盛り上がり。「もうちょっと右!」「Go, go,

go!」と、大きな声援が飛び交い、まるでお祭りのような熱気でした。

そしてついに、力強い一撃でピニャータがパカッと割れると…中からはカラフルなお菓子がどっさり！子どもたちは歓声を上げて、一斉に中身を集めていました。みんなで分けあって最後はジュースと一緒に笑顔で帰宅してくれました。



今回のイベントは、遊び・クラフト・協力を通じて、英語を「楽しく」「自然に」学べる貴重な体験になったと思います。特に、外国人の先生と一緒に活動することで、教科書だけでは学べない「本物の英語」に触れられるのが、トーキングキッズならではの魅力です。そして私自身も、子供達が喜んでくれる姿を想像しながら、準備段階からとてもワクワクしながら取り組ませていただきました。こうして提案・企画から実行へ素早く行動できるのも開智ならではののかなと実感しました。まだまだ経験の浅い私にとってこういったイベントを運営していくのはとても新鮮で子どもたち以上に楽しませてもらっています。

イベント後には「またやりたい!」「今度はどんなのするの?」といった嬉しい声がたくさん届き、次のイベントへのやる気もぐんとアップしています👏

ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました！

そして今回来られなかった方も、是非次回のイベントには遊びに来てくださいね。夏にはまた新しいテーマで楽しい企画を準備中です。英語が初めてでも大丈夫！一緒に楽しみながら、英語の世界へ一歩踏み出してみませんか？

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。